

SNSトラブル

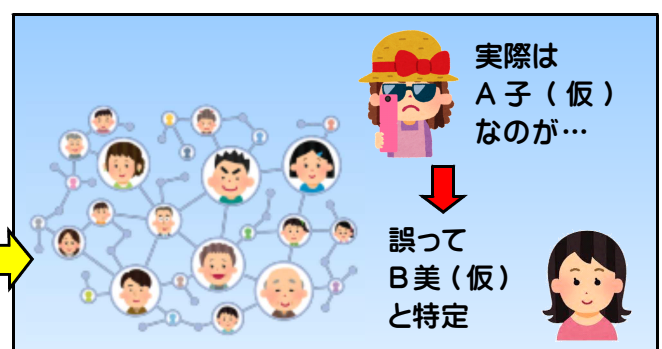
～誹謗中傷事例～

TwitterのリツイートやFacebookのシェアなど、他ユーザーの投稿を転載したり、リアクションする機能がありますが、他ユーザーの投稿を転載した人が法的責任を問われるケースがあります。

● 実際に起こったこと ～リツイートによる誹謗中傷～



とある傷害事件が発生した際、男の横でガラクケを構える女性の動画がテレビなどで流されました。



ネット上で女性の個人特定が始まった結果、全く関係のない女性の名前と顔写真が広まりました。



この情報を見たある人は、情報の真偽を確認せずに、SNSに「早く逮捕されるように拡散お願いします。」とB美に関する内容のリツイートをしました。



これに気づいたB美はリツイートをした人に対し、民事訴訟を起こした結果、リツイートをした人が損害賠償を支払う判決が下りました。

この事例のほかにも、デマを拡散（リツイート）した人の法的責任を争う訴訟が行われ、裁判所の判断は、「リツイートはツイートに対するコメントをすることが通常で、発信者自身の意見と判断できるため、ツイートと同じ責任を負う」という傾向にあります。

投稿の内容によっては刑事事件に該当する場合もあるため、SNSで情報を発信する時はリツイートを含めて、自分の投稿内容に問題がないか確認したうえで投稿しましょう。

マナーを守った正しいSNSの利用を！